



今号の主な内容▶2面：緊急事態宣言が延長されました(3月7日(日)まで)：新型コロナワクチン接種の準備を進めています：4月1日に清瀬市受動喫煙防止条例を施行

第16回市政世論調査の結果

市では、令和2年7月に第16回清瀬市政世論調査を実施しました。この調査は、市民の皆さんが持つ市に対する考えや意見、要望などを今後の市政運営に反映させ、より住みよいまちとしていくことを目的に、3年に1度実施しており、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の男女1,000人にご協力をいただきました。第4次長期総合計画・実行計画の成果指標との連動を考慮した設問を

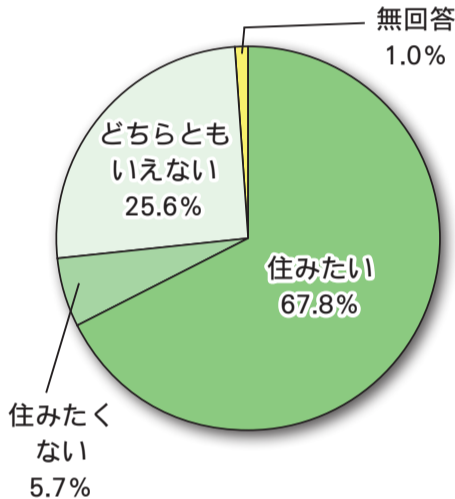
盛り込み、市政の各分野から27項目30問を設定し意向などを伺ったところ、630人の方からご回答をいただきました。この度その調査結果がまとまりましたので、概要についてご報告します。なお、調査結果の報告書は、市役所をはじめ、松山・野塩出張所、各図書館、市ホームページでご覧いただけます。☎秘書広報課広報係 ☎042-497-1808



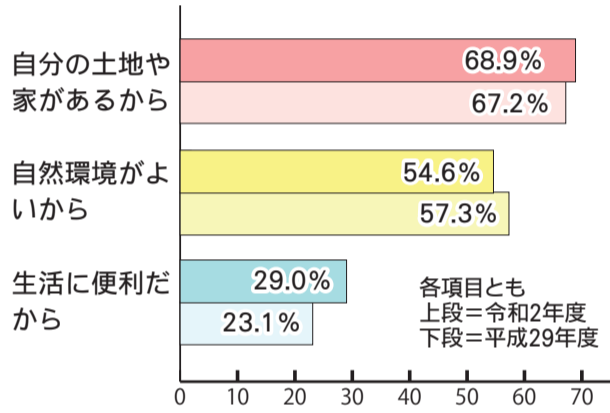
詳しくはこちら

◆【居住継続意思】清瀬市に住み続けたいと思いますか？

問1 今後とも清瀬市に住みたいと思いますか？



問1-2 「住みたい」とお答えの方に伺います。その理由を教えてください(3つまで回答可)。



※次いで「医療・福祉施設が多いから」「通勤・通学に便利だから」の順となっています。

自然環境がよいから 住み続けたい

居住継続意思を尋ねたところ、「住みたい」が最も多く、「住みたくない」を大きく上回りました。なお、「住みたい」は前回調査より1.6ポイント減少しましたが、「自然環境がよいから」という理由が多いことから、緑豊かな自然環境が支持されていることが伺えます。



緑豊かな清瀬金山緑地公園

◆生活実感や日頃の行動について伺いました

市が進める第4次長期総合計画・実行計画で設定する「まちづくり指標」の達成度を測るため、4つの主な将来像(「安全でうるおいのある暮らしができるまち」・「健康でともに支え合うまち」・「子どもたちを健やかに育む

まち」・「豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち」)に対する生活実感や日頃の行動について伺いました。※目標値を達成している項目は今後、目標値を調整していきます。

安全でうるおいのある暮らしができるまち

項目	平成29年調査	令和2年調査	令和7年目標値
災害に備えて避難場所の確保や食料備蓄、非常用持出品の用意をしている人の割合	35.0%	50.3%	70.0%
消費者被害に関する情報提供や相談体制が充実していると思う人の割合	26.6%	27.0%	40.0%
この一年でボランティア活動や地域活動に参加したことがある人の割合	27.9%	17.1%	37.0%
人権を身近なこととして意識している人の割合	49.0%	57.9%	57.0% (※)
家事や子育て、介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う人の割合	86.6%	88.9%	100.0%

健康でともに支え合うまち

項目	平成29年調査	令和2年調査	令和7年目標値
高齢者が地域で自分らしくいきいきと暮らしていると思う人の割合	43.9%	44.9%	70.0%
障害のある方に対して理解や配慮をしている人の割合	66.4%	73.3%	75.0%
年に一回は健診(健康診査)を受けている人の割合	83.4%	78.9%	83.6%
かかりつけ医を決めている人の割合	65.2%	59.4%	70.0%
必要な時に適切な医療を受けられているので安心だと思う人の割合	69.6%	66.6%	70.0%

子どもたちを健やかに育むまち

項目	平成29年調査	令和2年調査	令和7年目標値
母と子どもの健康に関する情報提供や相談体制が充実していると思う人の割合	34.6%	30.7%	38.6%
育児の協力をお願いや相談ができる場所(人)が周りにある(いる)人の割合	25.5%	31.1%	50.0%
学校の行事に協力したり参加したりしたことがある人の割合	37.0%	40.3%	45.0%
子どもや若者が地域で見守られていると思う人の割合	32.0%	33.9%	38.0%
誕生から就労に至るまでの悩みごとを相談できる体制が充実していると思う人の割合	13.7%	16.2%	16.0% (※)

豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

項目	平成29年調査	令和2年調査	令和7年目標値
清瀬市の住環境は快適で自然への配慮と調和がとれていると思う人の割合	56.6%	60.0%	60.0% (※)
日頃からごみの量を減らすことやリサイクルに取り組んでいる人の割合	71.5%	74.9%	80.0%
日頃から地域環境(節電、節水、マイバッグなど)に配慮している人の割合	67.0%	76.5%	75.0% (※)
日頃から市内で生産されたものを購入するようにしている人の割合	46.8%	42.5%	69.4%
日常の買い物は市内の商店街を利用している人の割合	48.0%	48.1%	48.9%